

その一「夏休み親子茶会」

訪問日 平成30年7月21日(土)
 訪問場所 南宗寺
 主催者 堺市西地区保護司会、協賛：南宗寺
 訪問者 林 美輝副議長、服部 節子委員

■ 概 要

「夏休み親子茶会」とは

○夏休み親子茶会は、堺市西地区保護司会が、南宗寺の協賛・協力のもと、地域子どもそして保護者が、同寺にある歴史・文化的遺産にもふれるとともに、老師や関係者からお話を聞き、お茶や礼儀の作法、そしてその精神などについて学ぶ集まりです。

○同会への参加は、事前申込みで、午前・午後の部それぞれ先着80名となっています。

○午前・午後の部ともに、大まかな流れは次のようになっています。

1. 南宗寺 住職 碩應(せきおう)老師のお話
 2. お辞儀の仕方や作法についての講義
 - 3(*). 茶の湯の体験
 - 4(*). 堺観光ボランティア協会の方々のガイドによる境内の文化財見学
- (*3と4は、グループによっては逆の順番になります)。

「夏休み親子茶会」のチラシです。体験内容に老師のおはなしとあり、学べる内容が想像できます。

茶会の様子です。次客に声をかけてからお茶をいただくなど、茶会での思いやりの心が実践されていました。



日時 平成30年7月21日(土)

午前の部 → 受付 9時00分より 茶会 9時30分～12時00分
 午後の部 → 受付 12時30分より 茶会 13時00分～15時30分

会場 南宗寺 (南宗寺町 電話232-1654) 本坊・客殿

参加費 小中学生500円 大人1,000円
当日ご持参ください 小学生は必ず保護者同伴で参加願います

◎体験内容…おはなし、住職 碩應老師
 ◎作法の稽古…お辞儀の仕方、生菓子・抹茶の献き方
 ◎茶の湯体験…生菓子・薄茶
 ◎境内文化財見学…ガイド付
 ◎持ち物…ソックス(兼足はご運書ください)

お問い合わせならびにお申込は堺西地区サポートセンターまでお願いします
 TEL072-274-6400 FAX072-274-6410

主催：堺市西地区保護司会 協賛：南宗寺 後援：堺市教育委員会

夏休み親子茶会のご案内

茶祖、千利休のふる里南宗寺において、わがまち堺の歴史・文化を探究すると同時に、茶の湯体験を通してお互い仲良く明るく楽しい社会に発展できますよう、夏休みの思い出として楽しいひと時を過ごしていただきたく、夏休み親子茶会を開催いたします。お問い合わせの上ご参加ください。

「社会を明るくする運動」夏休み親子茶会申込書

代表者名前 _____ 住 所 _____

電 話 _____ 学校名 _____
または所属

午前/午後	氏 名	参加者	午前/午後	氏 名	参加者
		小中学生・大人			小中学生・大人
		小中学生・大人			小中学生・大人
		小中学生・大人			小中学生・大人

※午前・午後のいずれかに○印をつけてください。

「堺市西地区保護司会」とは

○堺市西地区保護司会は、犯罪をした人々が地域で更生するための支援や、犯罪の予防のための啓発活動を行うことを使命とした保護司の地区団体です。同地区保護司会は、南宗寺との協力のもと、堺らしい茶の文化を地域密着型の活動を取り入れながら、これらの使命を果たしてきています。

○南宗寺は、臨済宗大徳寺派のお寺で、1557年、三好長慶によって建立され、1615年、大坂夏の陣で焼失したのち、1619年に現在の地に再建されました。数々の重要文化財のほか、枯山水の庭、茶室（実相庵）などがあります。

「キーパーソン」からお話を伺いました

小倉孝雄さん（保護司会会長）

○平成28年から社会を明るくする運動の一環としてこの茶会を実施されています。一服のお茶でおもてなしをする側される側が「和敬清寂」の精神で、ともに敬い仲良くなるための時が共有できることをお話をして頂きました。

奥中佳代子さん

○もともとは地域の子ども達に茶の湯の良さを伝えたいと思い、南宗寺碩應老師にお願いし裏千家の仲間の協力を得て親子茶会と題して10年間開催してこられました。平成28年からは社会を明るくする運動の一環として堺西地区保護司会の主催としての協力を得て実施しておられます。自身も保護司さんで取り組みの広がりを楽しんでおります。当日はお菓子から道具にいたるまで心こめ選りすぐりのもので迎えているとお話し頂きました。

田島碩應さん（南宗寺老師）

○お茶にこれまで縁のなかった方にも来ていただき、お茶の体験を通じて、人が自分のためだけに生きているのではないことなどについて考える機会となればというお話を聞かせていただきました。



碩應老師のお話を聞くことで、一般的な茶会のなかで、たくさんの学びを感じることができました。

予算について

○堺市西地区保護司会から補助。

○参加費用は小中学生500円、大人1,000円。

■ 「堺が考える社会教育」の観点からみると

ともに学んだり、教えたりするためには

堺市社会教育委員会議提言書 13頁

○子どもや保護者が参加しており、さまざまな年代が茶会で交流し、茶の作法から新たな学びに気づいていました。

例えばこんなこと【気づく】

○茶会に参加したことのない方が、茶の作法には、お互いを尊重していくような文化が反映されていることに気づくとともに、そのことを通じて日常生活における人との関わり方を見つめ直すきっかけとなるのではないのでしょうか。

例えばこんなこと【表わす】

○茶会の感想を相互に述べ合うとともに、最後に作文をすることで自分たちが学んだことを表すことができていると思いました。

例えばこんなこと【分かちあう】

○茶会そのものが、一緒に時間と空間、そしてお互いを尊重し合う文化を分かちあうとともに、南宗寺にあるさまざまな歴史を市民のみなさんが分かちあうことができる機会になっていると言えるでしょう。

堺らしさ

堺市社会教育委員会議提言書 17頁

○堺の歴史、文化遺産を知り、堺の人々に根付くおもてなしの心を実感でき、堺らしさが盛りだくさんの活動でした。

○堺を誇りに思えるような工夫がたくさんありました。

例えばこんなこと【人権】

○さまざまな形（氷柱やお花、一服ずつ心を込めて出されたお茶、こだわりのあるお菓子や器など）でおもてなしを受けました。このようなおもてなしを受けた経験があるからこそ、自分自身もまた人におもてなしをすることが容易になり、そのことを通じて相手を尊重する人権文化の構築にもつながると感じました。

例えばこんなこと【先人】

○これまではお茶に縁が薄い人や、子どもたちにお茶を楽しんでもらう場がなかったことが課題となっていました。

○千利休が修行を行った南宗寺で、さまざまな文化遺産とふれあうことができる会で、堺のさまざまな歴史や先人の心にふれることができる機会になっているでしょう。



南宗寺の待合室に飾られていたお花は、一輪ずつ、きれいに生けられていました。



茶会でのお茶菓子です。涼しげで夏にぴったりでした。

待合室に設置されていた「氷柱」は、とても涼しげでした。主催側のおもてなしの精神を感じることができました。



さまざまな「つながり」

堺市社会教育委員会議提言書 21頁

○堺の文化が蓄積された南宗寺という場所で堺市西地区保護司会や南宗寺の老師などが、茶会を催すことで、「つながり」を広め深めていました。

例えばこんなこと【担い手】

○堺市西地区保護司会、南宗寺、堺観光ボランティア協会、そして参加した子どもと保護者などがつながることができていると思います。

例えばこんなこと【場所・空間】

○茶会そのものが一緒に場所や空間を共有するものですが、自分たちの住む堺に、南宗寺のようにさまざまな文化が蓄積されていることを知ることで、堺への愛着がいつそ育まれることになると思います。そのことを通じて、堺という空間の「つながり」が深まっていくことになればと考えています。

例えばこんなこと【物事】

○日頃なかなか手にすることのないお茶の道具や、南宗寺にあるさまざまな文化財にふれることができます。

観光ボランティア協会の方が、南宗寺のさまざまな文化遺産を、興味深い堺の歴史や先人たちの話を交えて、ご案内してくれました。



南宗寺です。枯山水は重要文化財に指定されており、日本古来の素敵な庭園を眺め、みんなで心安らぐことができました。



「つながり」の質

堺市社会教育委員会議提言書 24頁

○「和敬清寂」を実感できる茶会をボランティアが運営し、作法、思いやりやおもてなしの心などをともに学んだり、教えたりすることで違いを認めあい、当事者性を持った「つながり」ができていました。

例えばこんなこと【違いを認めあう「つながり」】

○「和敬清寂」の精神による茶会によって、お互いを敬いあうということは同時に、お互いの違いを認めあうかたちでつながることを実現していくきっかけにもなると思いました。

例えばこんなこと【外に開かれている「つながり」】

○住んでいる地域を限定せずに、参加者を募集されています。

例えばこんなこと【自ら進んでいく「つながり」】

○茶会がボランティアによって運営されることによって、みんなが当事者性を持ってひとつのことをなしとげることができる「つながり」が実現できているのではないかと思いました。

例えばこんなこと【その他】

○当日の盛況な様子は、ケーブルテレビを通じても放送され、参加した人以外にも共有されていました。今後の「つながり」にも寄与するものと思われます。

茶会では、子どもたちも、直前に練習をしたお辞儀やお作法を実践していました。田島老師のお話の実感できるひとときでした。



■ つながるといいな

○すでに実施している中学校の体験活動の機会提供についてもさらに継続し、深めていくことや、親子以外の一般参加もさらに進めていくことで塚らしい「つながり」を一層深めていくことができると思いました。

■ 訪問して感じたこと

○茶会には「和敬清寂」をはじめそこに込められた人を大切にする文化があることが、南宗寺という空間で行われる茶会だからこそ身にしみて理解することができました。

○数々の歴史や史実を持つ南宗寺にお茶席が設けられているということに最高の塚らしさが表わされていると思います。老師の「親子茶会がどうして成り立って来たのか」を伺って、やはり塚にはお茶の心が浸透していかなくてはと強く思いました。子どもたちにとってもこのお茶席の経験が今後の人生に大いに関わって人間としてすばらしい生き方を導いてくれるのではないかと感じました。生涯にわたり生きるとすれば、関わる人に“和敬清寂”の心を持って接して生きるとすれば多くの人に幸せを送ることになるでしょう。

○親子でともに茶の湯を味わうことができる！というので、緊張のなかにも、ほっとする思いがして、とても楽しいひとときでした。部屋にしつらわれた氷柱も参加者の熱気に少しずつ解け、風鈴の音もとぎれることなく涼やかで、本当にお心づかいに感服いたしました。

■ 主催者からのメッセージ

社会教育って？

○犯罪や非行に走った人は支えてもらうチャンスが有っていいのに・・・など深い事情を抱えていたりします。その時、両親や学校の先生や近所のおっちゃんおばちゃんの顔が思い浮ばなかった事が欠けていたのかもしれない。日常生活の中で人と人が触れ合いつながり助け助けられ社会の一員であることを自覚できる場をつくる事が大切だと思います。

「つながり」を広げるって？

○人は一人では生きていけません。人を励ましたり励まされたりして明日を生きる力を育てています。一方人間らしい心になれる癒される居場所のあることも大切です。この基になるのが人のつながりだと思います。「独りにしない」「誰一人取り残されない」そんな地域社会にするための「つながり」は希望であり生きる力です。

訪問してみたいかがですか？

○「健康友の会みみはら」のサークルを母体に地域ボランティアさんで運営されている子ども食堂を訪問するのはいかがでしょうか。

■社会教育委員会議の活動や提言書については、堺市ホームページで公開しています。

